

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課  
担当課長名：松谷 春敏

<b>事業名</b> やまてかんせん もりきた 山手幹線（森北）	<b>事業区分</b> 都市計画道路	<b>事業主体</b> 神戸市								
<b>起終点</b> 起点：神戸市東灘区森北町1丁目 終点：神戸市東灘区森北町2丁目		<b>延長</b> 0.55km								
<b>事業概要</b> 既成市街地を東西に結ぶ幹線道路である山手幹線の一部であり、安全で円滑な交通の確保、緊急時の救急活動や物資輸送路のために事業を進めている。あわせて、JR甲南山手駅の北側に駅前広場を整備することにより、交通結節点としての機能強化を図る。 幅員W = 27m（往復4車線、標準歩道幅員4.5m）										
H7年度事業化	S21年度都市計画決定 (H13年度変更)	H7年度用地着手 H8年度工事着手								
全体事業費	38億円	事業進捗率 61% 供用済延長 0.1km								
計画交通量	25000台/日									
<b>費用便益分析結果</b>	B/C (事業全体) 1.6	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><b>総費用</b> (事業全体) / 30.1億円</td> <td style="width: 50%;"><b>総便益</b> (事業全体) / 47.1億円</td> </tr> <tr> <td>事業費 / 29.8億円</td> <td>走行時間短縮便益 / 44.4億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費 / 0.4億円</td> <td>走行費用減少便益 / 2.2億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通事故減少便益 / 0.6億円</td> </tr> </table>	<b>総費用</b> (事業全体) / 30.1億円	<b>総便益</b> (事業全体) / 47.1億円	事業費 / 29.8億円	走行時間短縮便益 / 44.4億円	維持管理費 / 0.4億円	走行費用減少便益 / 2.2億円		交通事故減少便益 / 0.6億円
<b>総費用</b> (事業全体) / 30.1億円	<b>総便益</b> (事業全体) / 47.1億円									
事業費 / 29.8億円	走行時間短縮便益 / 44.4億円									
維持管理費 / 0.4億円	走行費用減少便益 / 2.2億円									
	交通事故減少便益 / 0.6億円									
<b>事業の効果等</b> ・都市圏の交通円滑化の推進（公共交通機関（バス）路線の利用促進） ・安全な生活環境の確保（歩道整備による安全で快適な空間の確保） ・道路の防災対策・危機管理の充実（県地域防災計画における広域防災帯への位置づけ）										
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 隣接する芦屋市側工区と調整しながら事業を進めている。										
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成8年10月にJR甲南山手駅が開業し、平成17年3月には地下を南北に結ぶJR新駅線が完成するなど歩行者や沿道の停車需要が増加している。そのため、歩道整備や円滑な自動車交通の確保などが求められている。神戸・阪神間の東西方向の幹線道路として、早期整備の必要性が高まっている。										
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地買収率は78%に達している。										
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 既に0.1km区間は完成形で供用している。										
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし										
<b>対応方針</b> 事業継続										
<b>対応方針決定の理由</b> 芦屋市側の整備も進捗してきていることから、神戸・阪神間の東西方向の幹線道路としての役割を果たすとともに、安全で円滑な自動車交通を確保するため、早期完成を目指して事業を継続する。										
<b>事業概要図</b>										

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。